

研究課題番号	S-14-5
研究課題名	気候変動に対する地球規模の緩和策と適応策の統合的なモデル開発に関する研究
研究実施期間	平成 27 年度～令和元年度
累計予算額	325,411 千円
研究機関名	国立研究開発法人国立環境研究所
研究代表者名	肱岡 靖明

1. 評価者の指摘及び提言概要

AIM/CGE と全球水資源モデル H08 の連結などによる水文学的モデリングに基づいて、気候変動への対策の主要 9 分野での影響（被害）を金銭換算することによって、そつなく成果を得ており、行政的な貢献面での成果は顕著である。これまで実施してきた研究を、緩和策と適応策の統合として着実に前進させたことが認められる。研究担当者も自ら明記しているが、適応策の効果の評価については一部の分野にとどまっている。政策提言時には、その解析の範囲を明確に示して頂きたい。

2. 評点

総合評点：S